⑴ クラブ管理運営委員会

委 員 長　　日野幹雄
副委員長　　永田数子

【活　動　方　針】

出席・親睦、会報・記録、プログラム委員会と連携し、それぞれの委員会事業が充実して楽しい例会、楽しいクラブ活動が行われ、出席率の向上に繋がるようサポートします。

【実　施　目　標】

クラブ管理運営委委員会は当年度のロータリー活動のカラーを決める大事な委員会と認識します。このため、適宜クラブ管理運営委員会を開催し、伊藤会長の掲げられたテーマ「笑顔あふれる明日のために～チャレンジ＆アクション～」が実現するよう、必要な施策を各委員会とともに立案、実施するように努めます。

(a) 出席・親睦委員会

委 員 長　　久屋貴弘
副委員長　　栂野宏美
委　　員　　飯塚野乃花　糸賀　雅　岸　篤彦
北脇　樹二　高橋　敦　谷口洋平
牛尾尚正　吉井光生

【活　動　方　針】

伊藤会長の掲げたテーマ「笑顔あふれる明日のために～チャレンジ＆アクション～」と基本方針にある「親睦を深める楽しいロータリー活動の実施」の達成に協力していきます。

【実　施　目　標】

1. 例会の皆勤出席会員に記念品を送ります。
2. 例会の無断欠席防止を図り、欠席者にメークアップを促します。
3. 配偶者（会員）誕生日と結婚記念日にお祝い品を送ります。
4. 親睦例会（月見例会、家族同伴忘年例会、花見例会、家族同伴最終例会）、親睦行事（浜松ハーモニーロータリークラブとの交流）を実施します。
5. 例会時のスマイルを掘り起こす努力をします。

⑵ 会報・記録委員会

委 員 長　　鳥屋尾征幹
副委員長　　阿川嘉明
委　　員　　浅津博行　岡　英司

【活　動　方　針】

例会やクラブ活動の記録・保存を基本にし、分かりやすく、読みやすい会報を作成します。

【実　施　目　標】

会報作成の効率化、会報のメール配信率向上に努めます。

(c) プログラム委員会

委 員 長　　石田泰寛
副委員長　　堀江卓史
委　　員　　古瀬倶之

【活　動　方　針】

・各委員会と連携を図り、楽しい例会行事を企画します。
・会員の皆様にとって有益な講師卓話を実施します。

【実　施　目　標】

1. 会員による卓話、外部講師による卓話を行います。
2. 会員相互の親睦を深める為、ゆったり例会を執り行います。

⑵ 会員増強委員会

委 員 長　　塩野稔昭
副委員長　　山根宏行
委　　員　　荒木光治

【活　動　方　針】

会員数50名を目標に、積極的に勧誘活動を行う。

クラブ会員の会員増強意識を高め、退会防止の意識付けを行う。

【実　施　目　標】

5名の会員増強を目指す。

女性会員候補への積極的勧誘を行う。

新入会員候補者リストを作成する。

(3) ロータリー広報・雑誌委員会

委 員 長　　石橋慶一
副委員長　　伊藤　暢
委　　員　　山口孝之

【活　動　方　針】

ロータリーに対する知識と理解を一層深めるため、情報の収集と提供を行います。

【実　施　目　標】

1. 毎月「ロータリーの友」の紹介を例会で行います。
2. 新会員インフォメーションを実施します。
3. ホームページを利用したロータリーの公共イメージと認知度向上を模索、検討する。

(d) 職業奉仕委員会

委 員 長　　児玉　治
副委員長　　杉原龍馬
委　　員　　今岡余一良

【活　動　方　針】

会員の職業において自らのモラルや品格、さらにサービスの品質向上に努め、顧客に満足して貰うことを認識する。

職業奉仕賞の制定の検討を行う。

【実　施　目　標】

1. 会員又は外部講師による職業奉仕に関する卓話を実施する。
2. 会員企業で職場訪問例会を実施する。

親睦を兼ねたボウリング体験を行い、職業理解に努める。

(e) 社会奉仕委員会

委 員 長　　朝山一玄
副委員長　　米原啓介
委　　員　　朝山　裕

【活　動　方　針】

ロータリークラブにおける社会奉仕活動について改めて考えるため、当クラブの過去の社会奉仕活動および第2690地区内各クラブの活動を紹介する機会を持ちたい。

市内で活動している日本語教室 2ヶ所に「ポケトークＳ」を寄贈して日本語指導に役立ててもらうのにあわせ、現在の活動状況を報告してもらう。

環境保全のためのプロジェクトの実施を検討し、可能であれば「出雲市民の森」の有効利用を図る。

社会福祉協議会のフードドライブ事業への協力を引き続き行うことと、出雲地区保護司会が実施している更生保護施設「しらふじ」への衣類・日用品寄付に協力する。

【実　施　目　標】

・第2690地区内クラブの社会奉仕活動の紹介
・日本語教室に「ポケトークＳ」を寄贈
・環境保全のためのプロジェクト検討
・社会福祉協議会のフードドライブ事業への協力
・更生保護施設「しらふじ」への衣類・日用品寄付
・「出雲市民の森」の有効活用の検討

(f) 国際奉仕委員会

委 員 長　　金山　均
副委員長　　高橋英一
委　　員　　山根一生
　　山代裕始

【活　動　方　針】

国際社会への見識を深めて今後の国際奉仕について検討する。

【実　施　目　標】

・地区世界社会奉仕資金を活用した国際奉仕を検討する。
・出雲市在住の外国人に例会行事で卓話をしてもらう。

(g) 青少年奉仕委員会

委 員 長　　池淵俊雄
副委員長　　松尾貴久
委　　員　　廣原俊平
　　森山　勝

【活　動　方　針】

吹奏楽クリニックを行い、会員の青少年奉仕についての意識向上を図る。

【実　施　目　標】

1. 市内の小、中、高校吹奏楽部を対象としたクリニックを地区補助金事業として開催する。
2. 公立高校インターアクトクラブについて理解を深める。

⑻ 米山記念奨学会委員会

委 員 長　　内田政智
副委員長　　伊藤直子
委　　員　　矢田信一

【活　動　方　針】

米山記念奨学会についての理解を深め、会員の皆様に協力をお願いする。

【実　施　目　標】

1. 米山月間に因んだ例会行事を行う。
2. 米山ランチを年 3 回実施し、浄財を米山記念奨学会に寄付する。
3. 米山記念奨学会に一人当たり普通寄付 5,000 円、特別寄付 10,000 円以上をお願いする。
4. 米山功労クラブ表彰を目指す。
5. 韓　威さんを米山奨学生として受け入れたのに伴い、カウンセラーと連携して世話クラブとしての責任を果たすよう努める。

(5) ロータリー財団委員会

委 員 長　　小林和夫
副委員長　　塩野和正
委　　員　　影山和夫

【活　動　方　針】

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

クラブの会員は、各基金への寄付を通じ、ロータリー財団を財政的に支援します。

その意味でロータリー財団への理解を深め、財団への寄付および活動に一層協力していただくよう活動してまいります。

【実　施　目　標】

1. 外部講師を招いたフォーラムを行い、ポリオ根絶への理解を深める。
2. 年次寄付を一人あたり 150 ドル行う。
3. 恒久基金への寄付を行う（ベネファクター１名）。
4. ポリオランチを 11 回実施し、ポリオプラス寄付を一人あたり 30 ドル行う。
5. ロータリーカード取得率向上を目指す。
6. 地区補助金事業のサポートと申請を行う。

⑹ クラブビジョン委員会

委 員 長　　高橋英一
副委員長　　日野幹雄
委　　員　　伊藤　浩　児玉　治　永田数子
　　内田政智　鳥屋尾恭一

【活　動　方　針】

創立 40 周年に向けた出雲中央ＲＣの在り方の検討。

クラブリーダーの推挙と選考。

【実　施　目　標】

クラブビジョンの検討を行う。

クラブ会長等の推挙について検討する。

(7) S　A　A

S A A　　米原啓介
副SAA　　伊藤　暢

【活　動　方　針】

笑顔あふれる明日の為の例会運営。

【実　施　目　標】

1. 会長、幹事、各委員長の皆様と連携をとり、円滑な例会運営を行います。
2. 多くの会員同士が親睦を図れるコミュニケーションの場となるよう配慮します。
3. ゲスト・ビジター含め出席者の皆様がストレスなく参加できる雰囲気づくりに努めます。

(8) 会　　計

会　計　岡 英司

【活　動　方　針】

クラブ資金の健全な管理運営に努め、適正、公平、かつ厳正な予算の執行を行います。

【実　施　目　標】

1. 会費の徴収

・会費は一人年額240,000円(月額20,000円)とし、3ヶ月毎に60,000円、分割徴収します。

・徴収は、会員指定の金融機関の口座振替により、明確を期します。

・徴収に先立ち、内訳明細書を会員に配布し、事前に通知します。

2. 新入会員の会費の徴収

・入会時までに入会金50,000円を納入していただきます。

・入会月から会費を徴収します。

3. 来訪者（ビジター）負担金は2,000円とし、その都度徴収します。

4. 負担金及び納付金のうち、会員数を基準とするものは、7 月1日と1月1日時点の会員数により納付します。

5. スマイル会計は特別会計とし、別途処理します。

各会員の誕生月、結婚記念月にはスマイルとして一律3,000円いただきます。

6. 会計処理は収入、支出とも科目別に分類し、予算額と執行額を記録し、常に予算残高を明確にします。

7. 予算の執行状況は随時、理事役員会に報告します。

年度末決算については監査を受け、理事役員会の承認を得て、会員に報告します。